

(別紙2-3)

事業所名: グループホームひなたぼっこ

作成日: 平成 28 年 3 月 3 日

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	5	現在身体拘束防止に関する研修は、新入職員が入った時にのみ開催している状況であり、身体拘束に関する認識に個人差がある。	身体拘束に関する認識が同レベルになるように努める。	身体拘束防止に関する研修会を定期的に行い、又県が開催する身体拘束廃止推進員養成研修を受講する。 12ヶ月
2	12	入居契約時に終末期ケアについて説明は行っているが、現在まで看取りに至った実績がない。	入居者や家族の意向を尊重し、終末期ケアを行えるよう、職員の意識・態勢を整える。	終末期ケアについての研修を受講したり勉強会を行う。 12ヶ月
3				ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。